

わたしたちが生きる世界を知ろう～地球家族の一員として～

氏名：畑中 麻衣子

学校名：宮城県名取市立みどり台中学校

担当教科：英語

実践教科：道徳、英語

時間数：道徳3時間、英語2時間 対象学年：2年生 人数：171名(2学年全クラスで実施)

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：		
単元名 わたしたちが生きる世界を知ろう～地球家族の一員として～ 中心価値 4－(10) 国際理解・人類愛・平和 関連価値 1－(2) 希望・強い意志		
【2】 単元の 評価基準	(ア) 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリピンを通して世界に興味・関心を持つ。 ・世界の中の日本人という自覚を持ち、世界平和に貢献しようという意欲がある。
	(イ) 思考・判断・表現	様々な意見に耳を傾け、自分の考えを深めている。
	(ウ) 技能	情報を整理し、課題に対して具体的な解決策を追求することができる。
	(エ) 知識・理解	地球規模の課題を知り、解決に向けて、多様な立場で物事を考えることの大切さを理解する。
【3】 単元設定の 理由	<p>単元について</p> <p>(1) 単元設定の理由</p> <p>道徳の内容項目4－(10)に「世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する」とある。今日、私たちの日々の生活には、外国の製品や食べ物、文化といったものがあたりまえに存在している。また、日本のものや文化・技術も海外で親しまれ、現地の人々の生活に影響を与えている。このような現状から、国際社会は、相互依存の関係のなかで成り立っており、もはや自国の利益や幸福のみを追求すればよいという時代ではないと言える。</p> <p>このようなことから、これからの時代を担う中学生にとって、国際社会の一員として異なる文化や価値観を尊重したり、世界が抱えている課題について理解を深めたりといった国際理解は、今後ますます必要になってくる。そして、国際的視野に立って世界のために自分ができることを考え、実行しようとする意志を育むことが大切であると考えます。</p> <p>本時では、JICA 教師海外研修でフィリピンに行った際に実施した現地の方々へのインタビュー内容や視察した現地の様子を教材として活用している。フィリピンが抱えている課題を通して、立場の違いや様々なものの見方、考え方があることを理解させ、世界平和に寄与する態度を育みたい。</p> <p>以上の理由から本単元を設定した。</p>	

(2) 学級・生徒の実態 (担任学級2年2組 男子17名, 女子17名 計34名)

明るく素直な生徒が多く、和気あいあいとした雰囲気がある。男女間の仲も良い。グループ活動では、積極的に意見を出し合う様子が見られる。一方、全体の前で進んで発言する生徒は限られているが、友達の意見を聞きながらじっくりと考えることができる生徒が多い。

以下は生徒への事前アンケートをまとめたものである。

質問	5 とても	4	3	2	1 全く
1. あなたは世界のことに興味・関心がありますか？	6	13	10	2	2
2. あなたは自分の国のことに興味・関心がありますか？	4	11	13	2	3
3. あなたは価値観や考え方の違う人を尊重していますか？	6	14	11	1	1
4. あなたは困っている人のために何かしたいと思いますか？	8	19	5	0	1
5. あなたはこの世界のために何かできると思いますか？	6	6	12	5	4
6. あなたはこの世界のために何かしたいと思いますか？	5	9	14	2	3
7. あなたはこれからの自分の生き方についてよく考えていますか？	6	12	11	3	1
8. 自分の国や世界について知ることは自分にとって良いことだと思いますか？	14	9	7	2	1

(数字は回答人数)

世界のことに興味・関心がある生徒が多く、価値観の異なる他者を尊重しようという気持ちも高いことが伺えた。一方、世界のために何かしたいという気持ちはあるものの、実際に自分に何かできるかと問われると、消極的な回答が目立った。理由には、「世界のために自分にできることが思いつかない」「自分一人では何もできない」等と書いている生徒が多かった。

(3) 指導に当たって

フィリピンのパヤタス地区にあるゴミ山問題について取り上げながら、多様な価値観があることや、立場による考え方の違いに気付かせたい。そして、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際社会のために自分たちができることについて考えさせたい。

また、国際理解教育とは、単に世界の問題を取り上げているのではなく、それを自分たちの身近な問題に置き換えて考える視点を持たせることも大切である。本時の授業の中で取り上げるフィリピンのゴミ山の問題も、東日本大震災における瓦礫や放射能の汚染物の処理問題と重なる面がある。「フィリピンだから」ではなく、自分たちの身のまわりにある課題についても目を向けさせたい。

そのために以下の手立てをとる。

① フィリピンの紹介の仕方

本時の前に、学年全体に向けて報告会を行う。写真や動画を用いながら、フィリピンが抱えている課題だけではなく、フィリピン人の親しみやすい人柄や、公用語と民族の言葉を使い分けるコミュニケーション能力の高さ、家族を大切にす国民性等にも触れ、生徒がフィリピンの伝統や文化を理解し、尊重しようとする気持ちを高めたい。

	<p>② 学習形態の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳的価値を単に知識としてではなく、実感として理解させるため、また、話し合いのテーマについての知識や情報をわかりやすく整理するために、ロールプレイを実施する。 ・ 4、5人のグループでディスカッションを行い、問題解決のためにどうしたらよいか、多様な視点で考えさせる。 <p>(4) 本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フィリピンが抱えている課題を通して、多様な立場で物事を考えることの大切さに気付かせる。 ・ 世界の中の日本人としての自覚をもち、世界平和に貢献しようという態度を育む。 <p>(5) 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な立場で物事を考えることの大切さに気付くことができたか。 ・ 世界の中の日本人としての自覚をもち、世界平和に貢献しようという気持ちが高まったか。 <p>(観察、発表、ワークシート)</p>
--	--

【4】展開計画 (道徳全3時間、英語全2時間)

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1 道徳	・ フィリピンを通して世界に興味・関心を持たせる。	・ フィリピンについてのスライド ①フィリピンクイズ ②町、学校、食べ物について ③フィリピンが抱える課題について	・ パワーポイント ・ プロジェクター ・ 写真 ・ 動画
2 本時 道徳	・ フィリピンが抱えている課題を通して、多様な立場で物事を考えることの大切さに気付かせる。	・ 代表生徒によるロールプレイ「パヤタスのゴミ山について」 ・ ロールプレイをもとに発問について考える ①あなたは誰の立場に一番共感しますか？ ②あなたがフィリピン政府ならどうしますか？	・ 写真 ・ 登場人物の状況と台本 ・ ネームプレート ・ キーワードカード ・ 質問カード ・ 記録シート ・ ワークシート
3 本時 道徳	・ 世界の中の日本人としての自覚をもち、世界平和に貢献しようという態度を育む。	・ ダイヤモンドランキング「貧困問題を解決するためにわたしたちにできること」 ①個人で考える ②グループで考える ③発表	・ ワークシート ・ ダイヤモンドランキングシート(グループ用) ・ 内容カード ・ のり ・ ふりかえりシート
4 英語	・ フィリピンについて英語で聞き取り、理解を深めさせる。	・ 4人のグループになり、20枚の写真カードを並べる。 ・ 教師の英語を聞き、正しい写真を選ぶ。	・ 写真かるた(9セット) ・ スライド
5 英語	・ 英語を用いて、人とつながる喜びを感じさせる。	・ フィリピンの高校生からのメッセージを、グループで辞書を使って訳す。 ・ どんな内容なのか全体に紹介する。	・ フィリピンからの手紙

【5】本時の展開

(1) 指導過程①(5校時 45分授業)

段階	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)		
導入 (5分)	1. 学年報告会の内容を振り返る。 ・印象に残ったこと ・パヤタスのゴミ山について 写真を見せて：悪臭，不衛生… 「このゴミ山は必要だと思う？」 「住人はどう思っているんだろう？」	・報告会を振り返り、フィリピンについて共通理解を図る。 ・パヤタスのゴミ山がフィリピンの大きな課題の1つであると認識させる。	・写真		
展開 (15分)	2. ロールプレイ (1) 役割の紹介と会議のスタート ・協力者に、それぞれの役の状況と台本が書かれた資料を配布する。 ・進行役がそれぞれの役を紹介し、会議を開始する。 ・その他の生徒はオブザーバーとなり、ロールプレイを見る。 (2) 会議の実施 ・ロールプレイ参加者は台本に従い、発言する。 役割：パヤタス住人2名、子ども、都市の人、新しいゴミ山の住民、NGO職員、進行 (3) 質疑応答 ・記者役が質問を行う。ロールプレイ参加者は台本に基づいて質問に答える。	※台本【資料1】 ・誰がどんな役割をしているのかよくわかるように、表示を用いたりしながら紹介する。 ・オブザーバーにはメモを取りながら会議を見守るよう促す。 ※ワークシート【資料2】 ・オブザーバーの中から新聞記者役を指名する。 ・ロールプレイ後に、キーワードが書かれたカードを掲示し、参加者の主張を確認する。	・登場人物の状況と台本が書いてある資料 ・登場人物ネームプレート ・キーワードカード ・質問カード ・オブザーバー用記録シート		
(20分)	3. <table border="1" style="margin-left: 20px;"><tr><td>あなたは誰の立場に一番共感しますか？</td></tr></table> ①個人でワークシートに記入する。 ②発表する。 4. <table border="1" style="margin-left: 20px;"><tr><td>あなたがフィリピン政府ならどうしますか？</td></tr></table> ①個人でワークシートに記入する。 ②グループで話し合う ③発表する。	あなたは誰の立場に一番共感しますか？	あなたがフィリピン政府ならどうしますか？	・どの人がどんな意見を述べていたか必要に応じて個別に確認する。 ※ワークシート【資料2】 ・フィリピン政府がどういう立場なのかしっかりと説明する。	・ワークシート
あなたは誰の立場に一番共感しますか？					
あなたがフィリピン政府ならどうしますか？					

<p>終結 (5分)</p>	<p>5. ゴミ山は必要なのだろうか？</p> <p>「このゴミ山は必要だと言う意見がありましたね。」</p> <p>「では、本当に必要なのかな？」</p> <p>「本当の問題はなんだろう？」</p>	<p>・ゴミ山が必要かどうか発問を投げかけ、次の時間につなげる</p>	
--------------------	---	-------------------------------------	--

(2) 指導過程②(6校時 45分授業)

段階	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
<p>導入 (5分)</p>	<p>1. 貧困問題について取り上げる。 貧困問題に対して自分たちにできることを挙げる。</p>	<p>・前時のゴミ山の問題の根底には貧困問題があることに気づかせる。</p>	
<p>展開 (20分)</p>	<p>2. ダイヤモンドランキング</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>貧困問題を解決するためにわたしたちにできることを考えよう。</p> </div> <p>自分たちにできることが書かれているカードを読み、ランキングを作成する。</p> <p>①個人でワークシートに記入する。 ②グループで話し合い、ひとつのランキングを完成させる。</p> <p>※愛知国際交流協会国際理解教育教材参照</p>	<p>・なぜその方法を優先すべきと思ったのか、理由も併せて考えさせる。 ・単に多数決にならないように、よく吟味するよう声がけする。</p> <p>ワークシート【資料3】</p>	<p>・ワークシート ・ダイヤモンドランキングシート(グループ用) ・内容カード ・のり</p>
<p>(12分)</p>	<p>3. 発表 グループで決めたランキングを全体に発表する。 9班×1分程度</p>	<p>・なぜそうなったのか、理由も発表させる。</p>	<p>・マグネット</p>
<p>終結 (8分)</p>	<p>4. 振り返り ・日本の貧困問題についても触れる。 ・本時(2時間通して)の感想及び事後アンケートを記入する</p>	<p>・ゴミ山が必要かどうか発問を投げかけ、次の時間につなげる</p>	

【授業実践の様子】（本時での写真を添付し、キャプションをつけて下さい）

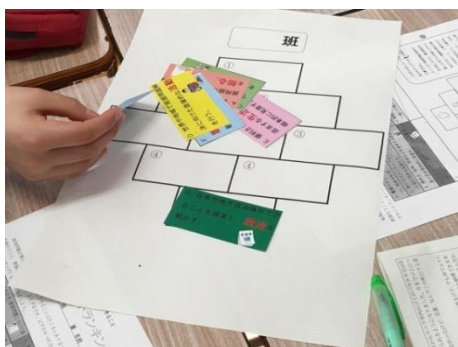


パヤタスのゴミ山の問題について「関係者会議」のロールプレイを行った。ロールプレイは代表者7名（パヤタス住人2名、子ども、都市の人、新しいゴミ山の住人、NGO職員、進行）、そのほかの生徒はオブザーバーで、メモを取りながら聞いている。その中には記者役として会議の最後に質問をする生徒もいる。

ロールプレイの後に、登場人物それぞれの立場や考えを整理し、「あなたは誰の立場に一番共感しますか？」という発問を投げかけた。生徒はじっくりと自分の考えを書いており、様々な意見が出た。



本時の後半では、「貧困問題を解決するためにわたしたちにできること」を、グループで話し合い、ダイヤモンドランキングを作成した。



グループで真剣に話し合う様子が見られた。ランキングの項目は全部で9つあり、自分たちで独自に考える項目も用意した。グループごとに様々なアイデアが出ていた。



【6】本時の振り返り

本時を振り返って気付いたことは2点ある。1点目は、ロールプレイを効果的に取り入れることで、課題に対する生徒たちの興味が高まり、さらに理解を深めることができるということである。ロールプレイは、グループで実施したり、生徒自身に台詞を考えさせたりと、様々な方法があるが、今回は代表生徒が、台本をもとにロールプレイをしたことで、どの生徒もパヤタスのゴミ山の問題について理解し、その後の活動にスムーズに取り組んでいた。2点目は、主発問「だれの立場に一番共感しますか？」に対して、予想以上に生徒からは多様な意見が出て、本時のねらいである「フィリピンを通して、多様な立場で物事を考えることの大切さに気付か

せる」にせまる話し合いができたことである。

課題はあるが、生徒たちに自分たちが生きる世界について真剣に考えるきっかけを与えることができたことは、今回の授業の成果であるとする。

【7】単元を通じた児童生徒の反応/変化

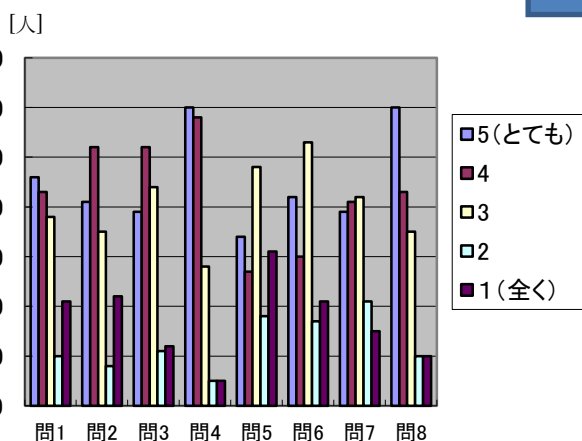
今回の授業は2学年全クラスで実施した。生徒の気持ちや考え方の変容をみるために、事前アンケートを行い、全3回の道徳の授業後に、同じアンケートを再び実施した。

アンケートの内容は以下の通りである。

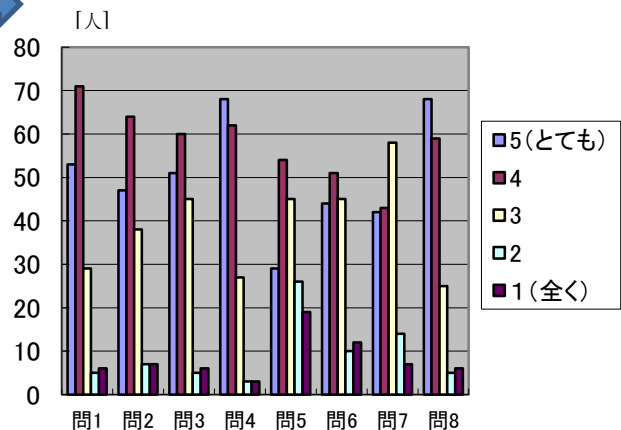
質問 ※実際のアンケート用紙には理由を書く欄も設けている	とても ←————→ 全く				
	5	4	3	2	1
1. あなたは世界のことに興味・関心がありますか？ どんなことに()	5	4	3	2	1
2. あなたは自分の国のことに興味・関心がありますか？	5	4	3	2	1
3. あなたは価値観や考え方の違う人を尊重していますか？ 理由()	5	4	3	2	1
4. あなたは困っている人のために何かしたいと思いますか？	5	4	3	2	1
5. あなたはこの世界のために何かできると思いますか？	5	4	3	2	1
6. あなたはこの世界のために何かしたいと思いますか？	5	4	3	2	1
7. あなたはこれからの自分の生き方についてよく考えていますか？	5	4	3	2	1
8. 自分の国や世界について知ることは自分にとって良いことだと思いますか？	5	4	3	2	1

【事前アンケート】H29. 11. 1 実施(全5クラス)

【事後アンケート】H29. 11. 7~13 実施(全5クラス)



※縦軸の値は人数



※縦軸の値は人数

上記のグラフから、授業を終えて生徒たちの、世界や日本への興味・関心が高まったことがわかる。また、「この世界のために何かできる」、「何かしたい」という回答の数値も高くなっており、授業を通して、自分たちにも何かできることがあるという気持ちが、多くの生徒の間で芽生えたのが伺える。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】

上記【7】のアンケートとともに、「今回の授業を通して、世界への興味・関心は高まりましたか？」という質問をし、「とても、少し、あまり、全く」の4つの選択肢から回答させた。その結果、「とても」や「すこし」と回答した生徒は全体の約90%にも上った。

以下は生徒の感想である。

- ・世界のいろいろな問題などあまり考えたことがなかったけど、今回の授業で、知ることができて良かった。まず世界の現状を知ることからやってみようと思った。
- ・今まで外国についてなんて全く考えたことがなかったけれど、今回の授業を通して、同じ世界の人なのだから、もっと考えていかなきゃと思いました。フィリピンだけでなく、自分の国、ほかの外国についても考えてみたいし、自分も問題解決に役に立ってみたいです。
- ・自分が知らないだけで、世界には貧困問題などで苦しんでいる人がたくさんいるということが分かった。いろいろな国の問題にも目を向け、関わっていききたい。
- ・僕は今回の授業で自分の考えが変わり、「世界について自分も何かしたい」という気持ちになりました。アンケートも、授業後には半分以上理由が変わりました。
- ・ロールプレイで「アイビーちゃん」をやってみて、同じ子どもなのにそんな子どもたちがいるなんて知らなかったし、助けてあげたいと思った。
- ・自分は、自分の国以外の国を違う世界のように考えていたので、今回の授業で現実を知りました。
- ・また別の国についても学びたいと思った。
- ・世界のために、自分たちにも簡単にできる活動があることを知りました。
- ・この授業で、世界だけではなく、日本にも大きな課題があると分かった。そのことについても今日から調べていきたい。
- ・私たちが見ているニュースの他にもたくさん問題があることが分かりました。「知る」ということはすごく大切なことだと気づいたので、また調べてみたいし、自分のできることから始めたいです。
- ・今回の授業で世界への興味が高くなったので、人生で一度は行ってみたいと思うようになった。
- ・世界には日本にいたらありえないことがたくさんあることに気が付きました。日本の人たちが協力して世界の人たちを救えることはたくさんあるんだなあと思いました。
- ・ロールプレイでそれぞれの人の意見を聴いて、みんな自分の事を話しているのに、いつのまにか環境の事に直面していることに気が付きました。自分の事を考えるというのは、同時に環境の事について考えるということなのかもしれないと思いました。
- ・ロールプレイでビビアンさんを担当しました。台本を渡されて読んだときはそこまで感じませんでしたが、本番しっかり読み返してみると、ゴミ問題は深刻なんだということがよく分かりました。
- ・世界にはストリートチルドレンやゴミ山で得たわずかな収入で暮らす人々がいて、日本にも貧困に悩む人々がいると聞き、今の自分の生活に感謝しなければならないと思いました。
- ・貧困に苦しむ方々はもちろんつらいけど、それを支援する側であるNPOの職員の方も大変なんじゃないかと思いました。暮らすのに困らず、幸せな生活をしている私たちには困っている人を助ける義務のようなものがあるのではないかと考えました。

【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】

「世界のどんなことに興味・関心があるか」 ※【7】のアンケートからの考察

(授業前の主な回答)

- ・ 世界遺産
- ・ 文化（食、アーティスト）
- ・ 有名な観光地
- ・ 言語
- ・ ミステリー
- ・ 歴史
- ・ スポーツ
- ・ 経済
- ・ 産業
- ・ 世界の問題
- ・ 戦争
- ・ ない

授業前のアンケートでは、世界遺産や観光地等、旅行を意識したことへの関心が高かった。また、スポーツや食、アーティスト、ミステリーといった、自分にとって身近なものや流行しているものに興味がある生徒が多かった。一方で、「特にない」と回答した生徒の割合も高かった。

(授業後の主な回答)

- ・ 世界の課題
- ・ 貧困問題
- ・ 環境について
- ・ 難民について
- ・ その国の良いところ
- ・ 人々の暮らし
- ・ 戦争
- ・ 食
- ・ 歴史
- ・ 世界遺産
- ・ ことば
- ・ 日本との関わり

授業後のアンケートでは、世界の様々な問題についてもっと詳しく知りたいという回答が多かった。さらに、自分の興味のある分野に留まらず、その国の「良いところ」や日本との「関わり」を知りたいと書いている生徒も多く、全体的に単元を通して、世界のことを幅広く知りたいという気持ちが高まっていることが感じられた。

【9】自己評価

1. 苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイの原稿を作る際に、現地でのインタビュー内容をもとに、どのようにすれば生徒たちにわかりやすくパヤタスのゴミ山の問題が伝わるかを考えた。事実を伝えることと、わかりやすさを両立させるために、会議形式のロールプレイに至った。 ・ ロールプレイ後の発問については一番悩んだ点であったが、多くの先生方にアドバイスをいただき、本時では「誰の立場に共感するか？」という発問を行った。
2. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイヤモンドランキングの9つの項目の中に、生徒たちが独自に考えた項目を一つ入れていたが、この項目をもっと取り上げる。 ・ 黒板に掲示した文字をもう少し大きくする。 ・ どの部分をメインに持っていきたいのか明確にする。 <p>(参観していただいた先生方からのコメントも参照)</p>

<p>3. 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの、フィリピンをテーマに世界に目を向けて行動しようとする意欲が感じられた。 ・生徒の実態に合った内容で、生徒がよく話し合っていた。 ・現地の人の生の声があって良かった。 ・フィリピンに興味を持つと同時に、様々なところに目を向けられる内容だった。 ・会議、質疑応答といった臨場感のあるロールプレイで授業に引きこまれた。 <p style="text-align: center;">(参観していただいた先生方からのコメントも参照)</p> <p>〈自作教材について〉</p> <p>【8】の1.に記述したように、今回の授業では自作のロールプレイを教材として活用した。教師が自ら体験したことや、今地球上で起きている問題の深刻さ、それに関わる現地の人たちの生の声を、生徒たちに直接届けることができた。それは、海外研修に参加し、教師自身が体験してこなければ実現しなかったことである。授業の中で、ロールプレイの登場人物について「先生が実際に会ってお話を聞いてきた人たちなんだよ」と伝え、生徒たちはとても驚いていた。その後の授業の取り組みや感想から、生徒一人一人がフィリピンの人たちを身近に感じ、課題に対して「何とかしたい」と真剣に考えている様子が伺えた。</p> <p>今回の授業を通して、教師が実際に体験することの大切さを実感し、その体験に基づいて授業を行うことが、生徒の心をとても揺さぶるということを学んだ。</p>
<p>4. 備考（授業者による自由記述）</p>	<p>本単元を実践するにあたり、以下の2点についてずっと吟味してきた。</p> <p>(1) 教師海外研修で学んだことをどのように教材化するか。</p> <p>(2) 授業を通して子どもたちに何を感じてもらいたいのか。</p> <p>何度も練り直して作成した指導案だったが、授業を終えて生徒の感想を読んだとき、心から「挑戦してよかった」と感じた。</p> <p>授業は、各担任の先生にT2で入ってもらい、学年全5クラスで実施することができた。これは、校長先生のご理解のもと、主任をはじめ、学年の先生方がとても協力的だったからこそ実現できたことで、本当にありがたいと感じている。さらに、今回の授業を実施したことで、先生方から次につながる授業の提案もあり、学年で新たに国際理解教育の授業に取り組むことができた。国際理解教育を通して子どもたちに身に付けさせたい力について学年で話し合うこともできた。</p> <p>今回の研修が、私だけの学びではなく、周りの先生方にとって少しでも良い学びの機会となっていたら幸いである。</p>

添付資料：

- ・ ロールプレイ台本【資料1】

【資料1】 フィリピン パヤタスのゴミ山問題を考えよう ロールプレイ原稿



登場人物	セリフ
進行役	<p>ここはフィリピンです。これからフィリピンのパヤタス地区のゴミ山問題について話し合います。パヤタスのゴミ山は年内で閉鎖になると政府が発表しました。ゴミ山がなくなることで様々な問題が出てきています。会議には6人が参加していますので、それぞれの話を聞いてみましょう。まず参加者を紹介します。(それぞれに立ってもらい、誰がどの役をしているか全員に示す)。</p> <p>それでは、パヤタスのゴミ山問題についての会議を始めましょう。まず、パヤタスのゴミ山が閉鎖されたことについて参加者それぞれのご意見を聞いてみましょう。それでは、お願いします。</p> <p>まずはパヤタスに住んでいるお二人です。</p>
<p>パヤタス住人 ジョシーさん(女性)40歳 夫婦でゴミ山で働いている。 子ども7人と義母と暮らしている。 疲れている。家族がいるから頑張れる。</p>	<p>みなさん、こんにちは。うちは夫婦でゴミ山で働いていました。ただ、子どもがいるので、最近夫が主にゴミ山に行っていました。</p> <p>一日の稼ぎは 250 ペソ、日本円で約 550 円です。そのお金で家族 10 人で暮らしています。ゴミ山が閉鎖されたことで収入がなくなりとても困っています。食べ物を買うお金もないし、子どもたちが学校で使う物も買ってあげられません。私たち自身学校に行っていないので、今さら他の仕事にもつけないのです。ゴミ山を再開してほしいです。</p> <p>【質問の答え】</p> <p>① ゴミ山で働く中で大変なのは暑い日。また、雨の中でも仕事をします。夫は釘を踏んでけがをしたこともあります。一番困っているのはゴミ山が目の前にあることで、悪臭もするし、家族の健康面も心配なことです。でも、これ以外私たちに大金を得る方法はありません。</p> <p>② 家族みんなで過ごしているときが幸せです。</p>
進行役	<p>ジョシーさん、ありがとうございます。続いて、ビビアンさんお願いします。</p>
<p>パヤタス住人 ビビアンさん(女性) 45歳 以前ゴミ山で働いていた。 今は NGO の支援を受けてフェアトレード商品を作って収入を得ている。 生き生きとしている。明るい。</p>	<p>私も以前はゴミ山で働いていました。でも 2000 年に、以前のゴミ山が崩落する大事故が起きたんです。たくさんの方が亡くなり、未だに行方がわからない人もいます。今は新しいゴミ山が出来てみんなそこで働いているけど、あの事故以来、私はゴミ山で働くのをやめました。</p> <p>今は、ほかのお母さんたちと一緒に自分たちで小物を作り、売っている団体に所属しています。支援してくれる NGO のおかげで、裁縫などの研修を行い、キーホルダーやぬいぐるみ、ブックカバーなどを作って売っています。今では、この活動のおかげで家族の生活を支えていくことができているし、子ども 2 人とも大学へ進学させることもできています。</p> <p>【質問の答え】</p> <p>家族の健康や衛生面は心配ですが、このあたりの人はゴミ山での収入</p>

	<p>で生活している人がほとんどなので、そのことを考えると、ゴミ山はなくさないでほしいです。ゴミ山を閉鎖するなら、何かゴミ山に代わるお金を得る方法を教えてほしいです。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。では、つづいてパヤタスに住んでいるジョマールくん(アイビーちゃん)にも話を聞いてみましょう。</p>
<p>パヤタスに住んでいる子ども 男子→ジョマールくん(11歳) 女子→アイビーちゃん(11歳) 生まれたときから。 子ども7人と義母と暮らしている。 この生活があたりまえ。でも学校に行きたい。</p>	<p>家族で生活していくために、ぼく(わたし)もゴミ山で働いているんだ。学校に行きたいけど、ぼくが働かないと家族が食べていけないから、家族のために働いているよ。</p> <p>【質問の答え】 プラスチックや金属を見つけて、それをジャンクショップに売りに行ってお金にしているよ。あとは、たまにファーストフードの残り物を見つかることがあるよ。お腹がすいてるからそれを食べちゃうんだけど、お腹を壊すこともあるんだ。</p>
進行役	<p>ジョマールくん(アイビーちゃん)、どうもありがとう。今度は、マニラの中心地に住んでいる方に話を聞いてみましょう。マニラからのゴミもこのパヤタスに運ばれていました。それではお願いします。</p>
<p>首都マニラに住んでいる人 男子→マークさん(28歳) 女子→ローザさん(28歳) ゴミ山が自分の町に作られることに不満がある。</p>	<p>ゴミ山が機能しなくなって数週間、ゴミ収集サービスがなくなってとても不便でした。回収がなくても各家庭の生活ごみは溜まっていきますからね。だから、スーパーなどのゴミ箱にわざわざ捨てに行ったよ。そのゴミ箱も溢れかえってしまい、周辺は悪臭もして不衛生だったけど。</p> <p>今ではパヤタスから車で15分位行ったロドリゲスという所にゴミが運ばれているようですね。そこにまたゴミ山ができるのかな。</p> <p>【質問の答え】 ゴミが回収されなくて困ったけど、でも私たちフィリピン人の意識を変えていく必要もあると思う。この間レストランに行ったら、テーブルは片づけられていないまま、どうやったらこんなに汚せるの？ってな具合だった。使ったお客さんもだけど、店員も片付けなくて。周りにはフィリピン人以外の外国人もいた。フィリピン人として、自分の国を情けなく思う。外国人に見られて恥ずかしかったよ。</p>
進行役	<p>なるほど。では、そのロドリゲスに住んでいる方に話を聞いてみましょう。エドガーさん(ビーナさん)お願いします。</p>
<p>ロドリゲス住人 男子→エドガーさん(35歳) 女子→ビーナさん(35歳) ゴミ山が自分の町に作られることに不満がある。</p>	<p>こんにちは。先月からマニラ市内のゴミがパヤタスではなく、この町に集められるようになりました。今までゴミについて考えたことなかったけど、正直、なんでこの町に？と思っています。</p> <p>【質問の答え】 確かに町にゴミがあふれるのは困るけど、でも何でよりもよってここに新たなゴミ捨て場を作るのか納得できません。パヤタスの方々はゴミ山が必要だと言っているんだから、そのままでもいいのではないですか？</p>

進行役	ありがとうございます。では最後にパヤタスで支援活動を行っている NGO 職員の方に話をさせていただきます。おねがいします。
NGO 職員 福田さん(24 歳) ゴミ山の人たちの生活を何とかしてあげたい！情熱がある。	我々は、パヤタスの人たちの健康を守ることを、そしてゴミ山に頼らない収入を増やすことを目的に支援活動を行っています。ゴミ山で働く人の多くは十分な教育を受けていません。だからまともな職が得られないという現状があります。その現状を変えていきたいんです。 【質問の答え】 ① 先ほどのピピアンさんが話していたように、パヤタスのお母さんたちに裁縫などの技術訓練を提供し、作成したぬいぐるみなどを販売する仕組みを作っています。 ② 一方的に物やお金を与える支援では人はそれに依存してしまいます。大切なことは、そこにいる人たちが自分たちの力で立ち上がり生活していくことができるようになることです。
進行役	みなさん、ありがとうございました。それでは、今日はジャーナリストのみなさんにもお集まりいただいています。何かご質問はありますか？
	※それぞれ質問に応じて答えていく。
進行役	みなさん、ありがとうございました。以上で会議は終了です。

【質問】

記者 A→NGO 職員の福田さんへ：これまでどんな支援を行ってきたのですか？

NGO 職員の福田さんへ：支援を行う中でどんなことを望んでいますか？なにが必要ですか？

記者 B→ジョシーさんへ：ゴミ山で働く中で特に困っていることは何ですか？

ジョシーさんへ：どんなときに幸せを感じますか？

記者 C→ピピアンさんへ：ピピアンさんは、今はゴミ山で働いていないということですが、ゴミ山閉鎖についてどう思っていますか？

記者 D→ジョマールくん(アイビーちゃん)へ：集めたゴミはどのようにしてお金になるの？

記者 E→マークさん(ローザさん)へ：街にゴミがあふれかえって困ったと言っていました。あなたはゴミ山は必要だと考えますか？

記者 F→エドガーさん(ビーナさん)へ：あなたはこのマニラ市のゴミをどうしたらよいと考えていますか？

・ ロールプレイ用ワークシート【資料 2】

【資料 2】ワークシート① パヤタスのゴミ山問題について考えよう



2年 組 番 名前

☆ロールプレイを見て、登場人物の状況や気持ち、考えなどを書き留めよう。

—メモ—

☆
()

☆

【資料3】ワークシート② 貧困問題を解決するためにわたしたちにできること



ダイヤモンドランキング

2年 組 番 名前

貧困問題を解決するために、私たちにできることはたくさんあります。一人でできること、仲間とできること、直接行うこと、間接的に行うこと、さまざまです。以下の9つの方法について、あなたが考える優先順位（ダイヤモンドランキング）を付けてみましょう。

A 書籍やネットなどで、貧困問題について調べ、現実を知る。	B 貧困解決に取り組む団体の講座やイベントに参加し、人々とつながる。
C 寄付やボランティアなどで貧困解決に取り組む団体を応援する。	D 世界や地域で貧困問題解決に向けた直接的な活動を行う。
E 便利さ・効率・利益などを追求する生活のあり方を根本的に見直す。	F 安全でフェアな食品を購入したり、社会貢献活動を企業に働きかける。
G 日本や地方自治体ができることを提案し、政治を動かす。	H 家庭、地域、学校で、この問題を伝達し、一緒に行動する人を増やす。
I	

優先順位

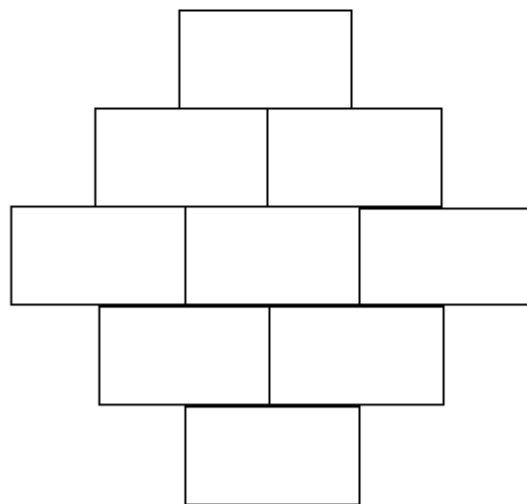
高

↑

↓

優先順位

低



・ I の枠の中に A～H 以外の自分のアイデアがある場合は書き込む。

・ A～I の「貧困問題を解決する方法」のうち、優先順位の高いと思うもの順に上から記入する（1番優先順位が高い方法は1つ、2番目は2つ、3番目は3つ、4番目は2つ、最後が1つ）。（なぜその方法を優先すべきと思ったのか、理由も併せて考えてください）

☆このランキングにした理由はなんでしょう？